

一般国道21号
か に みたけ
可児御嵩バイパス
(道路事業)

説明資料

平成28年9月30日

中部地方整備局
多治見砂防国道事務所

目 次

1.	一般国道21号可児御嵩バイパスの事業概要		
	(1) 事業目的	P	1
	(2) 計画概要	P	2
2.	評価の視点		
	(1) 事業の必要性等に関する視点	P	3
	①交通渋滞の緩和	P	3
	②観光支援	P	3
	③ストック効果事例：沿線地域の産業支援	P	4
3.	事業の進捗及び見込みの視点	P	5
4.	県・政令市への意見聴取結果	P	5
5.	対応方針（原案）	P	5

1. 一般国道21号可児御嵩バイパスの事業概要

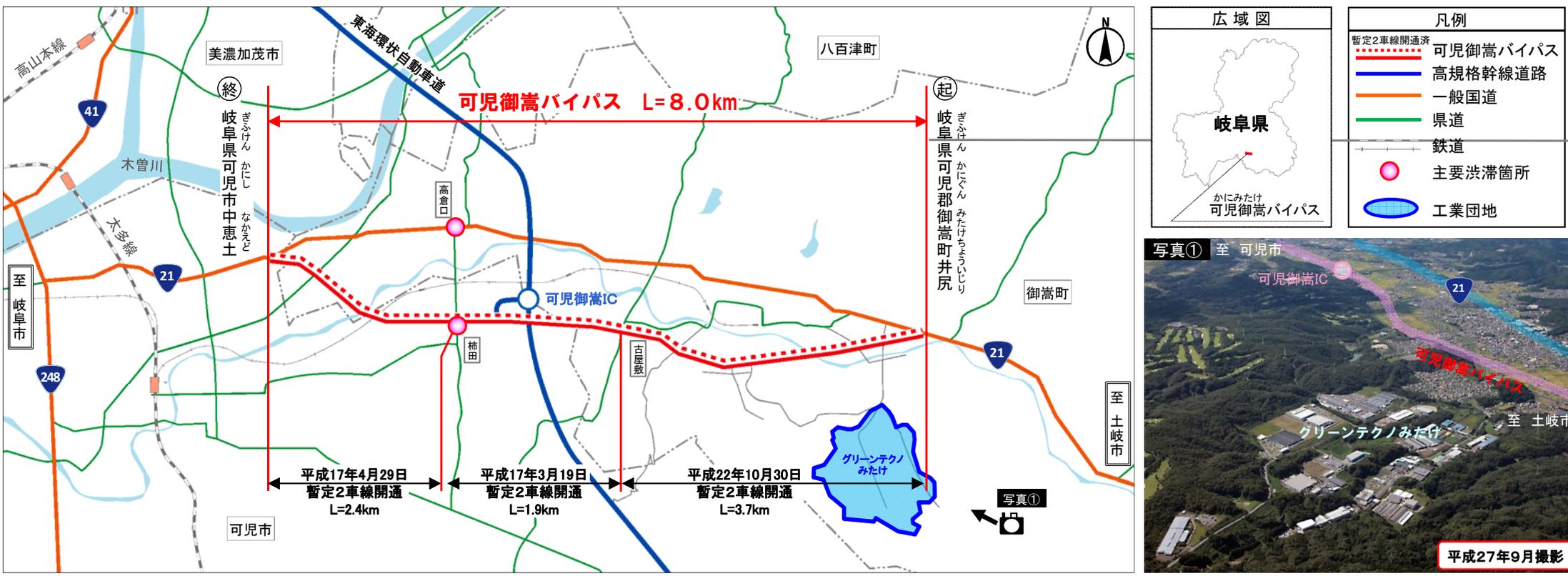
(1) 事業目的

一般国道21号可児御嵩バイパスは、岐阜県可児郡御嵩町井尻から可児市中恵土に至る延長8.0kmのバイパスであり、国道21号(現道)の交通渋滞の緩和、交通安全の確保とともに、東海環状自動車道可児御嵩ICへのアクセスの確保を目的に計画された道路です。

平成22年度に可児郡御嵩町井尻から可児市中恵土の8.0kmについて全線暫定2車線開通済みであり、国道21号(現道)の交通渋滞の緩和に寄与してきました。

しかし、国道21号(現道)の一部とバイパス部に、主要渋滞箇所(2箇所)があるなどの多くの課題があり、本事業は、課題解決のために引き続きバイパスの4車線化整備を行うことで、並行する現道の渋滞損失時間を約4割削減する等の効果を見込んでいます。

可児御嵩バイパスの全体位置図

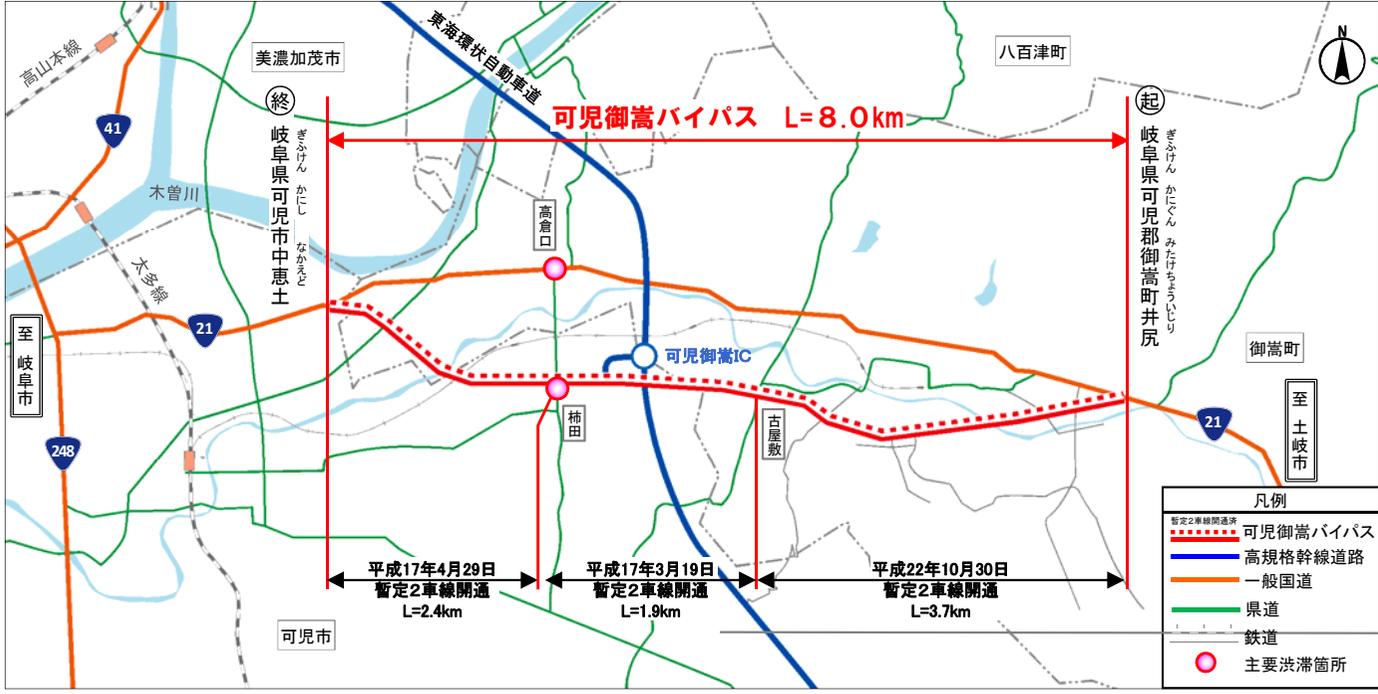


1. 一般国道21号可児御嵩バイパスの事業概要

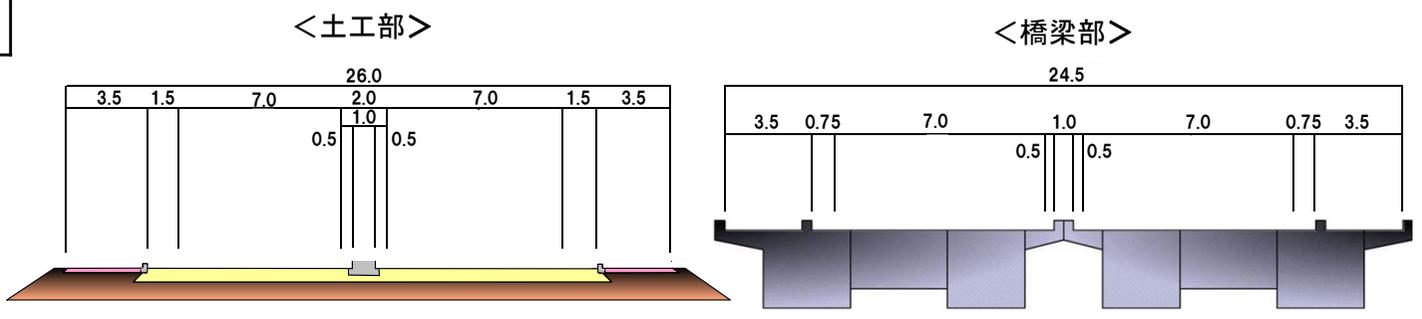
(2) 計画概要

かにみたけ
 可児御嵩バイパスは、平成3年度に事業化し、平成22年度に全線(延長8.0km)が暫定2車線で開通しています。

事業名	一般国道21号 可児御嵩バイパス
道路規格	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線
都市計画決定	昭和50年度(可児市) 昭和58年度(御嵩町)
事業化	平成3年度
用地着手年度	平成5年度
工事着手年度	平成12年度
延長 (平成27年度末)	8.0km/8.0km (暫定供用区間含む)
前回の再評価	平成25年度 (指摘事項なし:継続)
全体事業費	349億円



標準断面図



単位:m

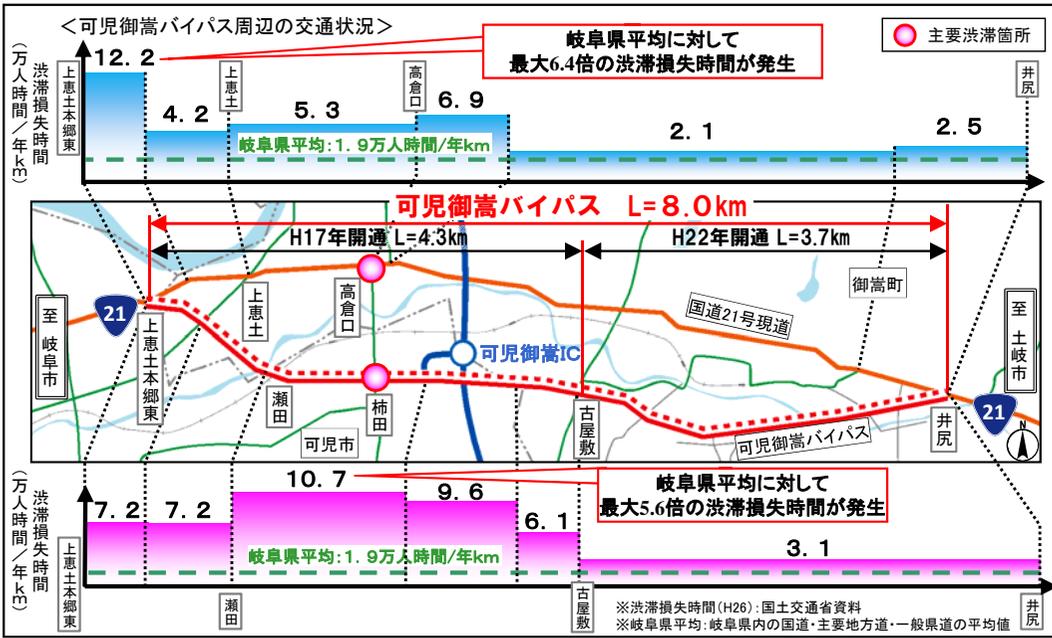
2. 評価の視点【事業の必要性に関する視点】

①交通渋滞の緩和

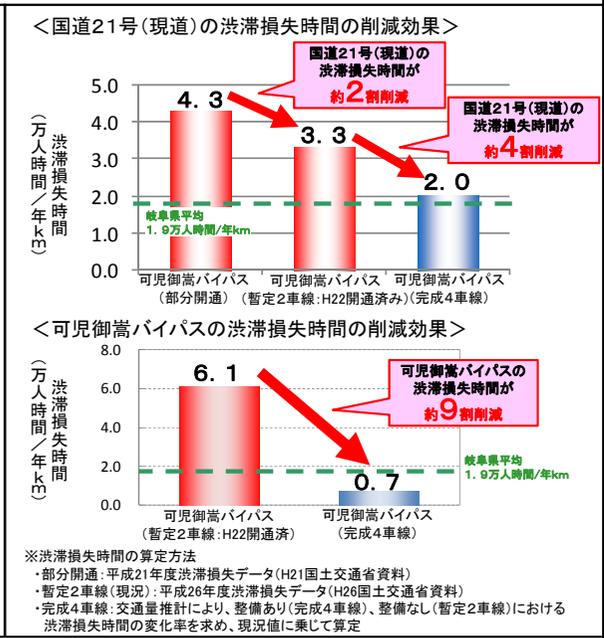
1) 事業を巡る社会情勢等の変化
 ●可児御嵩バイパスの全線暫定2車線開通により、国道21号(現道)の交通量が減少し、渋滞が緩和しましたが、依然として可児御嵩バイパス及び並行する国道21号の交差点が主要渋滞箇所を選定されています。

2) 事業の投資効果
 ○可児御嵩バイパスの整備(4車線化)により、バイパスの交通容量が拡大し、国道21号(現道)及びバイパスの渋滞緩和が期待されます。

1) 事業を巡る社会情勢等の変化



2) 事業の投資効果

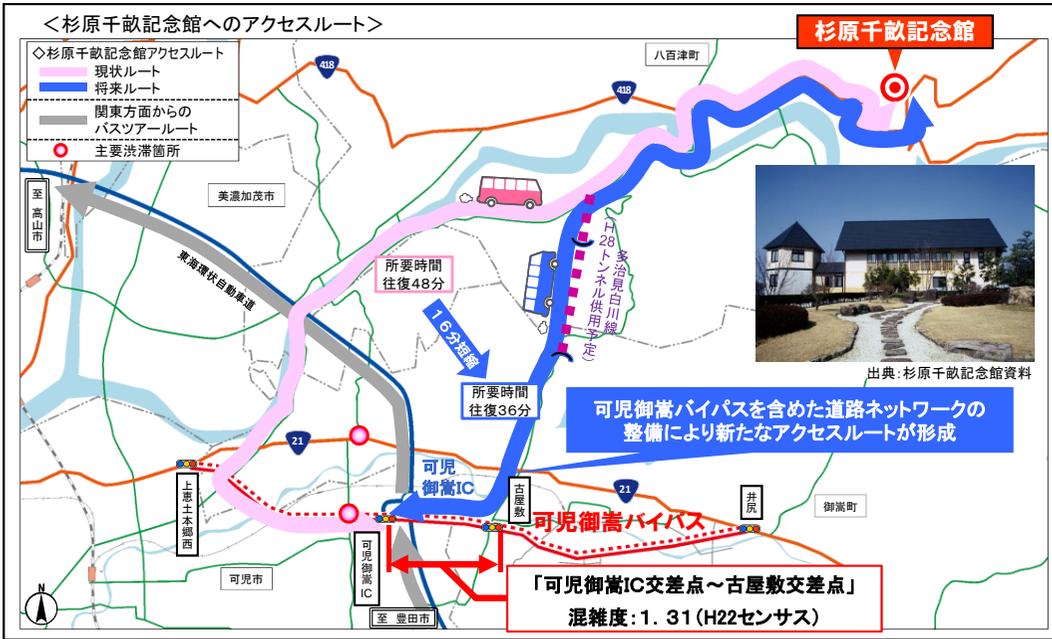


②観光支援

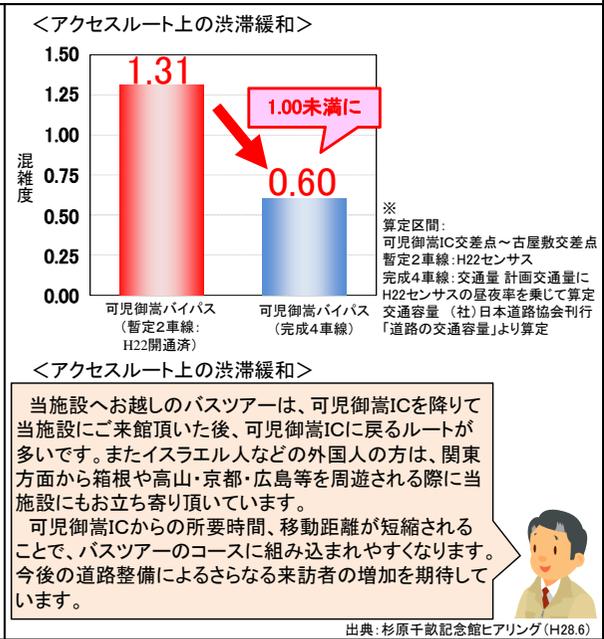
1) 事業を巡る社会情勢等の変化
 ●世界記憶遺産の国内審査を通過した「杉原千畝」を題材とした杉原千畝記念館は、H27年9月の登録候補選定後、来訪者数が約4倍に増加し、外国人観光客も増加しています。
 ●H28年度に県道のトンネルが供用予定であり、今後、アクセスルートとして可児御嵩バイパスの利用が想定されますが、混雑度は1.31であり、ピーク時など混雑する時間帯があります。

2) 事業の投資効果
 ○可児御嵩バイパスの整備(4車線化)による渋滞緩和、アクセス性向上により、更なる来訪者の増加が期待されます。

1) 事業を巡る社会情勢等の変化



2) 事業の投資効果



3. 事業の進捗及び見込みの視点

1) 事業の進捗状況

- 事業進捗率は**87%**、用地取得率は100%に至っています。(平成27年度末)
(参考) 前回評価時：事業進捗率は**87%**、用地取得率は100%(平成24年度末)

2) 事業の進捗の見込みの視点

- かにぐん みたけちょう いじり 可児郡御嵩町井尻から かにし なかえど 可児市中恵土(延長8.0km)については、周辺道路の整備状況等を踏まえ、整備を実施します。

4. 県・政令市への意見聴取結果

■ 岐阜県の意見

対応方針(原案)のとおり、事業の継続について異存ありません。
なお、事業費については、最新技術の活用も含めて、徹底した縮減をお願いします。

5. 対応方針(原案)

- 一般国道21号可児御嵩バイパスの事業を継続する。